

まちづくり推進組織の会議記録

会議の名称	第14回(平成19年度第3回)かごしままちづくり会議
開催日時	平成19年10月2日(火)10:00~12:00
開催場所	市民福祉プラザ5階中会議室
出席者 (委員) (市職員)	委員13名、市職員11名 宮廻会長、西園委員、時村委員、今別府委員、四元委員、 槐島委員、岩元委員、岡本委員、永山委員、 奈良迫委員、西委員、前田委員、山本委員 黒木政策推進課長、原政策推進課主幹、新西市民局安心安全課課長、 中村消防局総務課長、栗田警防課長、鮫島予防課長、その他関係職員
傍聴者数	0名
事務局	鹿児島市企画部政策推進課
会次第	1 開会 2 報告 (1) 第13回(平成19年度第2回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について (2) 第13回(平成19年度第2回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について(全市的な事項) (3) 第14回(平成19年度第3回)地域まちづくり会議等について 3 協議 (1) テーマ: 安心安全 (2) 3カ年のとりまとめについて 4 その他 5 閉会
会議の概要	1 開会 2 報告 (1) 第13回(平成19年度第2回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について 事務局から、第13回(平成19年度第2回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について説明。 (2) 第13回(平成19年度第2回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について(全市的な事項) 事務局から、第13回(平成19年度第2回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況のうち全市的な事項5項目について報告。 (3) 第14回(平成19年度第3回)地域まちづくり会議等について 事務局から、第14回(平成19年度第3回)地域まちづくり会議等の概要について報告。 3 協議 (1) 安心安全について

事務局からテーマに関して、「安心安全関係資料」により説明あり。

委員から、救急車の利用について、救急ではない人が使用し、本当に救急な人が使えないと、頻繁にメディアで取り上げられている。日本には馴染まないと思うが、例えば、他の国には有料の場合もあるようだ。本市における利用状況や考え方はどうだろうかとの発言あり。

事務局から、救急関係についてだが、救急車は緊急性のある方を送るのが原則である。搬送した結果として、軽傷というのが42%という状況である。H17年に、救急車の適性利用の検討委員会を設け検討してきたところであるが、そのことは、市民のひろばでも広報し、ホームページにも掲載しているところである。また、子育てガイドブックにも応急手当の方法や救急車の利用について掲載していただいている。

なお、先般、民間活用ということで、患者搬送事業者を認定したところである。有料になるが、病院から病院への搬送や退院の際など、利用していただければと思っているとの発言あり。

委員から、防災対策の一つとして電線地中化を進めていただきたい。地震の際に、電柱の倒壊を防げるし、通信ネットワークを維持することもできる。景観の面からも、電線のないロンドンやパリのように、鹿児島も美しいまちになると思う。道路も広く使えるので、ベビーカーや車イスの利用の面など、バリアフリーにもなる。

また、老朽化した木造建築物について、市の考え方はどうだろうか。住んでいる人だけでなく、地震や火災の際の延焼といった影響も考えられる。私権を制限しても、耐震、耐火の面で、強力な行政指導を発揮していただくか、もしくは、補助金等の助成などの対策に努めてほしいとの発言あり。

委員から、防犯について、自分の命を守るのは自分しかないと思うので、一人一人の防犯意識と知識を高めていくしかないと思っている。近所のどこでひったくりがあったという情報が新聞に事細かに載っていたが、そういった情報を鹿児島市内の犯罪の発生マップみたいなものを作って公開することで、なるべくそういう危ないところは通らないといった対応ができると思う。他市では実施しているところもあると思うが、鹿児島市でする予定はあるのか。

ある課が、子どもにも高齢者にも分かりやすい数ページのコンパクトな資料を、イラスト中心に作っていた。教育の一環のもので、具体的にこういう場合はという事例も載せていた。ホームページで見ると、今はやりの電子ブックになっている点もすごくよかった。そのような教育に使える薄い防犯マップがあればいいのでは。

鹿児島県の子ども対策といえば、「こども100番」がある。そういうところで、県・市でより連携して防犯に力を入れていただきたい。

高齢者は悪徳商法のターゲットにされやすいと思う。高齢者を対象とした集いを市で実施しているようだが、こういうセミナーや講習会に來れないような特に年齢が高い高齢者が危ないのではないか。民生委員を含めた地域だけでは対応が難しいと思う。ターゲットになりやすい高齢者をフォローするシステムを作ってほしいとの発言あり。

事務局から、例えば、ひったくりや女子高生が被害にあったという情報は、

防犯パトロール隊に県警から情報が指令されている。また、我々のほうからも提供していただくようお願いしている。県警で犯罪の発生状況をマップのようなものにするシステムを検討中と聞いているので、今後とも、県警とタイアップして対応していきたいと考えている。電子ブックなど、子どもの教本になるような啓発資料は、いろいろと勉強して検討してまいりたい。

また、悪徳商法だけでなく、交通、災害など、各面で、高齢者が被害に合っている。いろんな部署と連携し、幾重にも対応すべきと思っているとの発言あり。

委員から、防災行政無線について、せっかく設置されているから、マスコミの報道を流すよりも、身近な情報を流してほしい。どこが危険であるといった細かい情報を流してほしい。台風の接近情報などマスコミで分かる情報ではなく、鹿児島市役所でわかる市内の危険箇所などを知らせていただきたいとの発言あり。

委員から、防犯対策について、東京の歌舞伎町で防犯カメラを導入して、効果をあげていると聞いている。どうしても人的な対応だけでは限界があると思うが、天文館などで防犯カメラを導入する考えはあるのかとの発言あり。

事務局から、天文館地区は、中振連が設置し対応を図っている。文化通りでもそういう設置が進められていると聞いている。県が防犯カメラの指針を示しており、それを参考にプライバシーへの配慮、犯罪への対応と両面をにらみながら、慎重に対応が図られるべきだと思っているとの発言あり。

委員から、青色灯について、不良少年・少女が少しは目立たなくなっている気はするが、防犯効果よりも営業活動へのマイナスが大きいと思う。「We LOVE 天文館」で盛り上がっているが、逆効果になっているのではと思うとの発言あり。

委員から、平成 18 年度から、犯罪被害者への心のケアの施策を実施しているということだが、ぜひ、このような施策を充実させていただきたい。殺人事件にあって残された家族・遺族もある意味殺されたようなものである。心のケアの問題ということで、社会福祉士や精神保健福祉士からアドバイスされているようだが、ただ励まされるよりも、被害者は自分の気持ちを理解してほしい、共感してほしいと思う方が多いのではないか。犯罪被害者の交流についての施策は市でどういったものがされているのかとの発言あり。

事務局から、市の窓口として犯罪被害専門はなく、広く一般相談・法律相談があるところである。犯罪被害者支援センターが平成 18 年度から発足しており、そこで、被害者相談事業、弁護士への相談、自助グループへの支援、各種制度の情報提供をしている。市も補助金を交付し、そこを中心として取り組まれているところであるとの発言あり。

委員から、防犯対策についてだが、ローソンに郵便ポストを置いたり、宅配物を置いたり、公共料金や税金を取り扱ったりと、コンビニが郵便局・市役所などいろいろな役割を果たしている。コンビニには 2 4 時間営業で防犯カメラもあるため、東京都が防犯拠点とする考えもあるようだが、コンビニに交番機能を求められないだろうかとの発言あり。

(2) 3カ年のとりまとめについて

事務局から、3カ年のとりまとめについて説明あり。

委員から、いよいよ最後のまとめに入るわけだが、この総括にもあるとおり、新生鹿児島市の速やかな一体化と均衡ある発展を図るために協議を重ねてきた当会議が提出する提言書であるから、もう少し中身で特色を出したほうがいいのではないかと。一般的な文言が多く見られるが、地域まちづくり会議と、かごしままちづくり会議というベースを踏まえているということをもう少し前面に出したほうが、特色が出てくるのではないかと発言あり。

会長から、今後の鹿児島市をどうするかということは総合計画などがあって、この会議は合併後の新しい鹿児島市をどうするかという会議で、合併というのが中心にあったものである。その点が本来の趣旨であり、他の一般的なものではなく、合併後のまちづくりということを中心に、わかりやすく前面に出せないだろうか。その点を念頭に置いて整理をお願いしたい。委員が言われたことは会議の特色であると思うとの発言あり。

委員から、意見まとめの冒頭部分には、ただこうということを行いましたということだけではなく、かごしま会議がどういう思いでやってきたのかということを出してほしい。合併して、その次ができていく。そこに私たちの意見が関わっていけばいいと思うし、その大きく見据えた上での意見・提言になればいいのではないかと発言あり。

会長から、最終的なまとめなので、重要なところは重なっていい。何のために会議を立ち上げて何のためにしてきたのかということを入れてもいいのでは。総括で重要なところは重複してもいいし、全体の強調すべきところは強調したほうがいい。ところで、地域会議で話し合われたことはとの発言あり。

委員から、私たちの会議は常に2つのスタンスを重視した。行政への提言・提案と地域へ提案。地域でできることもあるのではないかと、2つに分けて議論してきた。合併3年以上でかなり前進したのもたくさんあり、大きく評価できるのではないかと。行政へのお願いからスタートしたが、現在は地域への提案にも力点を置いている。地域への提言も大事にしたいとの発言あり。

会長から、地域のことは地域でやろうという気持ちがこの会議を通じて芽生えてきたというのは意味のあることであるとの発言あり。

委員から、今後、最終のまとめは、地域のことを踏まえて、作っていくことになるのではとの発言あり。

会長から、地域の重要な点を反映できればいいのでは。そういうことをすれば、各委員が言われたようなことを反映できるのではとの発言あり。

4 その他

事務局から、次回会議は11月13日の開催を予定しているとの発言あり。

5 閉会

= 以上 =